

ゴミ・流木調査 本調査に向けて

■ゴミ・流木調査の目的

- 河川や海岸管理者、市民団体等が流域圏で一体となった調査実施
- 出水後のゴミや流木の実態を把握し、情報共有する
- ゴミ等の状況を生物への影響や、発生場所の想定の観点からも調査
- 自然分解されにくい人由来のゴミとともに、自然由来の流木やヨシの状況などを把握し蓄積することで、将来的にどこで何の対策を講じることが効果的か、個々の地域で対応できる問題か連携が必要かなどを話し合えるような発展を期待する
- 矢作川流域圏での取り組みについて、他の流域の活動者等とも情報交流し、伊勢三河湾全体の漂着ごみへの対応を強化する



矢作川流域の連携のきっかけづくりとする

■プレ調査の実施

- 日 時：平成 25 年 7 月 20 日（土）
- 活動場所：佐久島白浜海岸
- 目 的：本調査に向けて、調査票の有意性や実施方法などについて検討すること
- 調査内容：自然由来ごみ、人由来ごみ、生物影響ごみを対象とした

調査票（案）	調査（記入）内容	プレ調査での実施
調査票（1）	調査実施日や場所の概要を記入	実施
調査票（2）-1	代表地点 10m 四方の自然由来ごみの状況を記入	実施
調査票（2）-2	代表地点 10m 四方の人由来ごみの状況を記入	実施
調査票（3）	人由来ごみのうち 1 m 四方の生物への影響ゴミを記入	（2）の範囲で数箇所実施



■プレ調査を終えて（ふりかえり）

(1) 調査時間について

- ・ 夏季は、2時間程度が適切である。

(2) 調査人数について

- ・ 1ヶ所での調査は、4～5人が適切である。

(3) 調査方法について

- ・ ビニールシートの上にごみを並べると、風で飛ぶので、バケツなどの容器に入れて調査を行ってはどうか。
- ・ 10mの調査範囲をどこに設定するかという問題がある。
- ・ 10mを一つ取るよりは、1mとか2mを複数取った方がいいのではないか。
- ・ 砂浜のような場所の場合は、全体の一部分を取って、メーター数をかけて換算する方法もある。
- ・ 生物影響ごみ調査の目的は何か。流域連携が目的の場合、ごみの種類とある程度の量が把握できれば、個数のカウントまでは必要ないのではないか。
- ・ 生活系ごみと生物影響ごみの調査票を一緒にして、分類は、生活系、事業系、その他程度の把握にしてはどうか。

(4) 調査票について

①調査票 (2) -1について

- ・ 灌木・流木の区別はつかないので、「山からの発生した流木」、「川から発生した流木」、「川から発生した流木のうちヨシ」の3つに分類して、割合を見た方が良い。

②調査票 (2) -2について

- ・ 生活系ごみに「2. 食品の包装・容器」にトレーを追加した方が良い。
- ・ 生活系ごみの「3. 生活雑貨」と「12. その他生活系」は重複するので、「12. その他生活系」に統合した方が良い。
- ・ 生活系ごみに「紙パック」を追加した方が良い。
- ・ 生活系ごみの「8. 苗木ポット」は、事業系ごみに入れた方が良い。
- ・ 生活系ごみの「7. くつ、サンダル」、「10. おもちゃ」などの分類は不要なのではないか。
- ・ 漁業系ごみに「釣り具（釣り針、釣り糸）」、「釣り具（オモリ）」、「釣り具（ルアー等）」を追加した方が良い。
- ・ 生活系ごみと生物影響ごみの調査票を一緒にしてはどうか。

■調査票 (2) -1

調査票 (2) -1 (案)

流木調査項目	調査地点 ()		
流木等の漂着状況	灌木・流木の混在割合		
	灌木 (低木)	流木	その他 (分類不能)
	%	%	%
流木の特徴を チェック	A. 漂着物の状況 (時間経過)		()
	B. 人工林・自然林、その他の別		()
状況写真			
	(遠景)	(近景)	
樹種が判別できたものの名前	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・ 		
調査総評 コメント欄			
現場で感じた 解決のための アイデア			

流木の特徴をチェック

A. 漂着物の状況 (時間経過)	1	樹皮、枝葉が確認され、漂流後間もないもの	
	2	樹皮等は確認されず、時間をかけて漂流したもの	
B. 人工林・自然林、その他の別	1	根こそぎもしくは折れて運ばれてきた樹形のまっすぐな人工林	
	2	まっすぐな樹形かつ切断面が明確な間伐木	
	3	切断面は明確だが、まっすぐでない人工林以外のもの	
	4	根こそぎもしくは折れて運ばれてきた灌木等	
	5	その他 ()	

※調査票は、実施の結果を受けた改善提案に基づき、改良・反映の PDCA サイクルにて運用。

調査票 (2) -1 (案) 改

流木調査項目	調査地点 ()		
流木等の漂着状況	発生源別の流木の混在割合		
	山	川	川 (ヨシ)
	%	%	%
流木の特徴を チェック	A. 漂着物の状況 (時間経過)		()
	B. 人工林・自然林、その他の別		()
状況写真			
	(遠景)	(近景)	
樹種が判別できたものの名前	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・ 		
調査総評 コメント欄			
現場で感じた 解決のための アイデア			

流木の特徴をチェック

A. 漂着物の状況 (時間経過)	1	樹皮、枝葉が確認され、漂流後間もないもの	
	2	樹皮等は確認されず、時間をかけて漂流したもの	
B. 人工林・自然林、その他の別	1	根こそぎもしくは折れて運ばれてきた樹形のまっすぐな人工林	
	2	まっすぐな樹形かつ切断面が明確な間伐木	
	3	切断面は明確だが、まっすぐでない人工林以外のもの	
	4	根こそぎもしくは折れて運ばれてきた灌木等	
	5	その他 ()	

※調査票は、実施の結果を受けた改善提案に基づき、改良・反映の PDCA サイクルにて運用。

■調査票 (2) -2

調査票 (2) -2 (案)

ゴミ調査項目	該当欄にチェック	調査地点番号 ()			
人由来ごみ ゴミの種類	チェックシート	発見できたごみ			
		生活系ごみ			
	<input type="checkbox"/>	1. 飲料用プラボトル	<input type="checkbox"/>	7. くつ、サンダル	
	<input type="checkbox"/>	2. 食品の包装・容器	<input type="checkbox"/>	8. 苗木ポット	
	<input type="checkbox"/>	3. 生活雑貨	<input type="checkbox"/>	9. 飲料ガラス瓶	
	<input type="checkbox"/>	4. ふた、キャップ	<input type="checkbox"/>	10. おもちゃ	
	<input type="checkbox"/>	5. 袋類 (農業用以外)	<input type="checkbox"/>	11. ライター	
	<input type="checkbox"/>	6. 飲料缶	<input type="checkbox"/>	12. その他生活系	
	漁業系ごみ	<input type="checkbox"/>	13. 漁業系		
	事業系ごみ	<input type="checkbox"/>	14. 木材等	<input type="checkbox"/>	15. 農薬、肥料袋
	その他	<input type="checkbox"/>	16. 硬質プラスチック片	<input type="checkbox"/>	19. ガラスや陶器片
		<input type="checkbox"/>	17. 発泡スチロール片	<input type="checkbox"/>	20. 金属片
		<input type="checkbox"/>	18. シート、袋の破片		
	上記以外	<input type="checkbox"/>	名称: ()	<input type="checkbox"/>	名称: ()
<input type="checkbox"/>		名称: ()	<input type="checkbox"/>	名称: ()	
ゴミの量	ランク ()		目視・写真判定可		
発生場所の参考記載の有無	・住所、電話番号、その他の記載 ()				
状況写真					
	(遠景)	(近景)			
調査総評コメント欄					
現場で感じた解決のためのアイデア					

調査票 (2) -2 (案) 改

ゴミ調査項目	該当欄にチェック	調査地点番号 ()			
人由来ごみ ゴミの種類	チェックシート	発見できたごみ			
		生活系ごみ			
	<input type="checkbox"/>	1. 飲料用プラボトル	<input type="checkbox"/>	6. 飲料缶	
	<input type="checkbox"/>	2. 食品の包装・容器・ トレー	<input type="checkbox"/>	7. 飲料ガラス瓶	
	<input type="checkbox"/>	3. 紙パック	<input type="checkbox"/>	8. ライター**	
	<input type="checkbox"/>	4. ふた、キャップ**	<input type="checkbox"/>	9. その他生活系	
	<input type="checkbox"/>	5. 袋類 (農業用以外) **			
	漁業系ごみ	<input type="checkbox"/>	10. 釣り具 (オモリ) **	<input type="checkbox"/>	12. 釣り具 (ルアー等) **
		<input type="checkbox"/>	11. 釣り具 (針、糸) **	<input type="checkbox"/>	13. その他漁業系 (網等) **
	事業系ごみ	<input type="checkbox"/>	14. 木材等	<input type="checkbox"/>	16. 農薬、肥料袋**
		<input type="checkbox"/>	15. 苗木ポット		
	その他	<input type="checkbox"/>	17. 硬質プラスチック片**	<input type="checkbox"/>	18. ガラスや陶器片**
		<input type="checkbox"/>	19. 発泡スチロール片**	<input type="checkbox"/>	20. 金属片
		<input type="checkbox"/>	21. シート、袋の破片**		
上記以外	<input type="checkbox"/>	名称: ()	<input type="checkbox"/>	名称: ()	
	<input type="checkbox"/>	名称: ()	<input type="checkbox"/>	名称: ()	
ゴミの量	ランク ()		目視・写真判定可		
発生場所の参考記載の有無	・住所、電話番号、その他の記載 ()				
状況写真					
	(遠景)	(近景)			
調査総評コメント欄					
現場で感じた解決のためのアイデア					

※生物への影響のあるごみ

■本調査に向けて

(1) 調査場所について

- ・ 出水後の現場確認により、調査場所を決定する。以下に参考として、昨年度から調査場所として提案されていた、矢作古川河口の概要を示す。

地点（②）：地点名（西尾市吉良町吉田高島新田）

候補地の地点名や住所	西尾市吉良町吉田高島新田（矢作古川河口）
候補地としての提案理由	上流からのゴミや流木等の集積
過去の漁協等からのゴミ処理等の要請の実績	H23.7.19 台風 6号襲来後 H24.9.30 台風17号襲来後 漁協から要請
海岸清掃等の課題（回収・運搬・保管・処理等の課題）	・市の管理する漁港内は漁業者で清掃し、市が処理を行っているが、県管理の河川堤防に集積したゴミは、対応しきれず現状放置されている
候補地における清掃活動の有無、活動母体	吉田漁業協同組合、衣崎漁業協同組合
集まりやすいときの状況の規則性（雨、潮、風、季節などの状況でよく耳にすること、因果関係が明らかではないが想像されること等）	台風等の大出水時後に、上流からのゴミや流木等が、海の干満や風向きにより漁港内及び河川堤防に集積している。
その他特記事項	



過去の状況写真（平成 23 年 7 月 25 日 台風 6 号来襲後）

(2)

- ・ 9月の出水後、**メーリングリストでの連絡により調整を図り、3日以内に調査を実施すること**を提案する。

(3) 調査方法について

- ・ 調査範囲について、河川域においても10m四方の範囲の有効性を確認するため、**10m四方での調査を実施すること**を提案する。
- ・ 調査方法について、ブルーシートに採取ごみを並べてカウントする方法ではなく、**容器に分類しながら収集する方法**を提案する。
- ・ 生物影響ごみ調査について、**数ではなく、種類と大まかな量を把握すること**を目的に、**人由来ごみ調査のなかで把握する方法**で実施することを提案する。

(4) 調査票について

- ・ 調査票について、改良した調査票をもとに、調査を実施することを提案する。